

令和元年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

釜石市教育委員会

目 次

はじめに	1
1 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり（基本目標6）	3
① 地域との協働による特色ある教育活動の展開	4
② 生活・防災拠点としての教育環境整備	10
2 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり（基本目標7）	12
① 歴史遺産の活用と芸術文化の振興	13
3 絆と支えあいを大切にするまちづくり（基本目標2）	20
① 安心できる子育て環境の整備	20
② 学びが実践につながる生涯学習社会の形成	20
4 教育行政に関する事項	28
5 資料	29
「令和元年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書」有識者からの意見聴取会意見（要点）	32

はじめに

- この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に基づき、令和元年度の教育委員会の管理及び執行の状況に係る点検及び評価結果を取りまとめたものです。

点検及び評価に当たっては、平成 23 年 12 月 22 日策定の「釜石市復興まちづくり基本計画スクラムかまいし復興プラン」の進行管理と連動するよう、同計画の「復興まちづくりの基本目標」に基づいて整理しました。

- 点検及び評価は、2 段階で実施しており、第 1 段階として、「釜石市復興まちづくり基本計画スクラムかまいし復興プラン」の 7 つの「基本目標」のうち、3 つの「基本目標」における「取組項目」の結果を個別に評価した上で、第 2 段階として 3 つの「基本目標」のそれぞれを総合的に評価しました。評価の順番については、基本目標の順番によらず、学校教育に主眼を置いた順番としました。

なお、「取組項目」としての位置づけではないため、点検及び評価の対象ではありませんが、別途教育行政に関する事務や組織機構の見直しにより市長部局へ移管した事務についても取り組み状況をまとめています。

釜石市教育委員会委員名簿

委 員	佐 藤 猛 夫
委 員	太 田 悦 子
委 員	鈴 木 勝
委 員	福 成 菜穂子
教 育 長	高 橋 勝

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(参考)「釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン」(抜粋)

目指すべき釜石の将来像：三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石

○ 7つの基本目標 (点検・評価の対象：基本目標2、基本目標6及び基本目標7)

基本目標1：暮らしの安全と環境を重視したまちづくり

基本目標2：絆と支えあいを大切にするまちづくり

安心できる子育て環境の整備

(実施施策)・被災した幼稚園の整備

学びが実践につながる生涯学習社会の形成

(実施施策)・公民館や図書館など学習機能の早期復旧

・ライフステージに応じた学習機会の創出

基本目標3：生活の安心が確保されたまちづくり

基本目標4：人やもの、情報の交流拠点づくり

基本目標5：ものづくり精神が息づくまちづくり

基本目標6：強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

地域との協働による特色ある教育活動の展開

(実施施策)・地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

・教育関係機関と連携した心のケアの継続

生活・防災拠点としての教育環境整備

(実施施策)・防災機能や地域コミュニティの拠点となる学校の建設

・命を守る教育の推進

基本目標7：歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

歴史遺産の活用と芸術文化の振興

(実施施策)・橋野高炉跡のユネスコ世界遺産登録の推進と近代化遺産の活用

・郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援

・埋蔵文化財の調査と指定文化財の復旧

スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

(実施施策)・スポーツを通じた市民の健康づくりの推進

・スポーツ施設の拠点化とスポーツイベントの誘致

1 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり（基本目標6）

総 合 評 価

【学校教育課】

・釜石市小中学生「かまいし絆会議」を中心に、鶴住居復興スタジアムへのホタテ貝殻で作成したモザイクアート展示、RWC2019日本開催釜石鶴住居復興スタジアムでのフィジー対ウルグアイの試合における、市内全小中学生による「ありがとうの手紙」の合唱など、RWC2019日本開催に市内児童生徒が一丸となって主体的に関わりすることができた。

・釜石市小中学生「かまいし絆会議」が、自分たちの生活や地域のことに課題意識を持ち、自分たちができることを考える場として機能した。今後とも「かまいし絆会議」を児童生徒のリーダーの育成の場並びに主体的な活動につなげる場として活用していく。

・RWC2019日本開催釜石鶴住居復興スタジアムで試合を行う国について学習したり、ICTを利用した海外の児童生徒との交流活動等によって、児童生徒が広く海外へ目を向けるきっかけとすることができた。

・かまいしコミュニティスクール推進事業及び「いのちの教育」の取り組みにおいて、地域を理解し、地域への誇りと愛着を育み、何より命を大切にする教育を推進することができた。

また、取組に際して、地域との協働による活動、地域の支援・協力を得た活動により、地域とのつながりの中で子どもたちを育てることができた。

・各学校とも良好な人間関係づくりを基盤に、体験活動の充実、道徳教育の推進などにより、豊かな心の育成に取り組んだ。その成果もあり、いじめ問題については重大事案は発生していない。しかし、中学校において不登校の出現率が高い等の課題が見られることから、教育相談員やスクールカウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカーを活用し、学校や保護者と連携しながら対応を行っていく。

・岩手県学習状況調査（対象 小学校5年生、中学校2年生）の平均正答率において、小学校は県と同程度であった。中学校は前年度より差が縮まった教科があったものの県を下回っており、中学校に課題が見られた。授業改善により一層取り組み学力向上を図る必要がある。

【総務課】

・学校施設の適切な維持管理と必要な改修を行うことにより良好な教育環境を整えることができた。また、小・中学校の普通教室及び特別支援教室に空調設備を設置したことで、夏季における児童・生徒の熱中症対策を講ずることが出来た。

【学校給食センター】

・農産物について、関係者の協力を得て、地場産品目及び取扱量を増やすことができた。また、学校給食に地元産ラグビーかぼちゃを取り入れることで、児童生徒が地元食材への関心を深め、生産者への感謝の心を育むなど食育の推進及びラグビーワールドカップの気運醸成が図られた。

・新たな学校給食施設が整備され、より安心・安全な学校給食の提供ができるようになった。

取組項目		個 別 評 価
1	地域との協働による特色ある教育活動の展開	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に地域学校協働本部事業に取り組んでいる学校では、学校の諸活動に地域や保護者の協力を得て、学校経営を推進できた。また、各小学校では、地域の方々による登下校の見守り活動が行われ、児童が安心して登下校することができた。 ・総合的な学習の時間では、地域人材のゲストティチャーとしての活用や地域資源を活用した学習が行われた。「いのちの教育」の推進でも防災マップづくり等地域と協働した活動が行われた。 ・かまいしコミュニティスクール推進事業を活用し、郷土芸能や地域の産業学習、鉄に関する学習など、地域の協力を得ながら各学校や地域の特色に応じた特色ある活動を展開することができた。 ・平成29年度に組織し、活動を始めた「かまいし絆会議」において

		<p>自分たちができることを考え、形にすることを目的に、RWC2019釜石鵜住居復興スタジアムでの試合開催に向けた取組や当日の「ありがとうの手紙」の合唱を通し、地域貢献への意識と郷土への誇りを高めることができた。</p> <p>【学校給食センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産直の協力のもと品目及び取扱量を増やすなど地場産物の活用を図った。また、学校を訪問した「食に関する指導」を行うことで、児童生徒が地元食材への関心と生産者への感謝の心を育むなど「食育」の推進が図られた。
2	生活・防災拠点としての教育環境整備	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年行う施設の改修等に加えて、国の臨時特例交付金を活用し、小・中学校の普通教室及び特別支援教室に空調設備を設置し、教育環境の改善に努めた。 <p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鵜住居小学校及び釜石東中学校を市の研究指定校とし、「防災教育」をテーマに小中学校が連携した防災教育の推進を研究してもらい、その成果を市内各学校に広めた。 ・県の復興教育プログラムの改訂を受け、その趣旨を周知し、「いのちの教育」と復興教育との関連を示すことにより、各学校における取組の具体化に資することができた。 <p>【学校給食センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な給食を提供するため「学校給食衛生管理基準」や「大量調理施設衛生管理マニュアル」に適合した施設を整備するとともに、災害時対応可能となる施設整備を図った。

【取組項目】

① 地域との協働による特色ある教育活動の展開

実施施策	令和元年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
地域づくりに寄与する、各学校の特色をいかした教育の推進	<p>【学校教育課】</p> <p>□ 釜石市「いのちの教育」実践</p> <p>「自他の命を守るために、主体的に行動することができる子ども」を育てるために、教育活動全体で防災教育を核とし、自他の命を尊重する心を培うとともに、地域の人や自然、自然災害に対する理解を深めながら、主体的に自分で判断し行動することができる資質や能力を育てる。」ことを目的に、実践を深めた。</p> <p>【実施校】小学校：全9校・中学校：全5校</p> <p>【事業実践例】</p> <p>釜石市立釜石小学校</p> <p>①いのちの教育（授業等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うみがめのあかちゃん」（1年 道徳） ・『『まけないぞう』がつなぐきずな』（2年 道徳） ・「津波から逃げる」（3年 特別活動） ・「災害時の情報について考えよう」（4年 総合的な学習の時間） ・「いのちについて考える部屋」（5年 道徳） ・「いのちを大切にするには」（6年 道徳） <p>②防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と合同で行う下校時の避難訓練（津波発生を想定） 	<p>□ 今後も各学校及び地域の実態に応じて取り組む。津波災害以外の自然災害（特にも土砂災害）への意識を高めていく。</p> <p>□ より一層家庭や地域と連携した取組を推進する必要がある。</p> <p>□ 高校生による防災の取組も行われている。今後、高校生の取組を小中学校の活動に取り入れていくことも考えられる。</p>

釜石市立双葉小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・震災に関する記録文作成（国語）
- ・ライフライン/地域の地形特性（社会・理科）
- ・異文化についての理解（外国語活動）
- ・地域の過去の災害/地域の災害特性（総合的な学習の時間）

②避難訓練

- ・釜石市津波避難訓練への参加協力を通して、町ぐるみで防災に取り組む意識を涵養するとともに、復興教育における【そなえる】の重点化を図る。

釜石市立白山小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・防災マップづくり（特別活動）
- ・防災危機管理課と連携した洪水・土砂災害についての学習（特別活動）
- ・わたしたちのくらしと台風（5年 理科）

②防災訓練

- ・地域と合同で行う下校時の避難訓練（津波発生を想定）

③復興教育

- ・つながり集会（震災体験の語り継ぎ）

釜石市立平田小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「家族のためによろこんでもらったよ」（1年 道徳）
- ・「ショートくん練をやってみよう」（2年 特別活動）
- ・「急な大雨・かみなり・たつ巻」（3年 総合的な学習の時間）
- ・「土砂災害への対策」（4年 総合的な学習の時間）
- ・「洪水災害と避難の仕方」（5年 総合的な学習の時間）
- ・「正確な情報の発信・収集・判断」（6年 総合的な学習の時間）

②避難訓練

- ・地震、津波、下校時等を想定
- ・釜石警察署、防災危機管理課、平田駐在所、平田地区応援センター、スクールガード、学童保育と連携

釜石市立小佐野小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・『『もっこ』をせおって』（4年 道徳）
- ・「防災週間」（全学年 短学活）
- ・「大震災を語り継ぐ会」（特別活動）

②避難訓練

釜石市立甲子小学校

①いのちの教育（学年別重点目標）

- ・低学年
避難の際には、教員や近くの大人の指示に従って、適切な行動がとれるようにする。
- ・中学年
災害発生時に起こる様々な危険について知り、安全な行動がとれるようにする。

- ・高学年

状況に応じた身の守り方を自ら判断し、速やかに安全な行動がとれるようにする。

②いのちの教育（授業等）

- ・「防災の力を高めよう」（特別活動）
- ・小中合同地区集会

③避難訓練等

釜石市立鵜住居小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「津波って何だろう」（１年 特別活動）
- ・「災害から命を守るには」（２年 特別活動）
- ・「災害から身を守ろう」（３年 総合的な学習）
- ・「地域の防災施設を知ろう」（４年 総合的な学習）
- ・「津波のメカニズムを知ろう」（５年 総合的な学習）
- ・「防災を広げよう」（６年 総合的な学習）

②避難訓練等

釜石市立栗林小学校

①いのちの教育（授業等）

- ・「自分の気持ちをうまく伝えよう」（１年 特別活動）
- ・「～自分の気持ち うまく伝えよう～」（２年 特別活動）
- ・「そのとき、どうする？」（３・４年 総合的な学習の時間）
- ・「防災学習」（５・６年 総合的な学習の時間）

②避難訓練等

釜石市立唐丹小学校

①いのちの教育（学年別重点目標）

- ・低学年
教員や保護者など近くの大人の指示に従う等、適切な行動がとれるようにする。
- ・中学年
災害のときに起こる様々な危険について知り、自ら安全な行動がとれるようにする。
- ・高学年
日常生活の中の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動がとれるようにする。

②いのちの教育（授業等）

- ・「そのとき、どうする？」（１年 特別活動）
- ・「大きな災害ではライフラインがとまる」（３年 特別活動）
- ・「津波のしくみを知り身の守り方を考えよう」（５・６年 総合的な学習の時間）

③避難訓練等

釜石市立釜石中学校

①いのちの教育（５つの視点）

- ・社会貢献
復興への貢献、奉仕や思いやりの心、規範意識、自己肯定感、自己有用感
- ・郷土愛
釜石の地域の特性への理解、地域への深い愛情

- ・防災
自然災害への理解、災害への備えと実践力
- ・命の大切さ
自他の命を大切にする心、いじめを許さない姿勢
- ・安全
交通安全、学校安全への理解と実践力、心のケア

②避難訓練等

- ・火災への対応、津波への対応（中妻子供の家保育園と連携）

釜石市立甲子中学校

①いのちの教育（育てたい能力や態度）

【いきる】

- ・自己有用感を持ち、自主的に行動しようとする態度を養う。
- ・困難を克服してやり抜こうとする態度を育てる。
- ・ストレスの対処法を身に付け、自らの心の健康を維持する能力を向上させる。

【かかわる】

- ・ボランティアを進んで実践しようとする態度を養う。
- ・自分と地域社会の関係について考える力を育てる。
- ・郷土の自然や伝統・文化などにかかわりを持つとする態度を育てる。

【そなえる】

- ・自然災害が発生するメカニズムについての理解を深める。
- ・地域の過去の自然災害と復興の歴史や防災、減災についての理解を深める。
- ・自然災害発生時の避難場所や避難方法などについて正しく理解し実践する力を充実させる。

②小中合同地区集会、救急救命講習会、避難訓練等

釜石市立釜石東中学校

①いのちの教育（育てたい資質・能力・態度）

【いきる】

- ・自他の生命を尊重する態度
- ・恕の心
- ・夢や希望を自ら持ち自らの未来を切り拓くために努力する態度
- ・ストレスへの対処方法を知り、自分自身で心の健康を維持しようとする態度

【かかわる】

- ・積極的、主体的に物事に関わろうとする態度
- ・郷土理解と郷土に対する誇りと愛着の深まり
- ・表現力、情報発信力
- ・コミュニケーション能力

【そなえる】

- ・自然災害の理解
- ・防災対策の理解
- ・防災意識の高揚
- ・防災活動への参加意欲
- ・非常時に生き抜く技能の習得

②避難訓練等

- ・小中合同総合防災訓練

防災危機管理課、地区生活応援センター、社会福祉協議会、ボーイスカウト釜石第2団、鶴住居幼稚園、三峯の社、いのちをつなぐ未来館、釜石大槌地区行政事務組合消防本部と連携

釜石市立唐丹中学校

①年間計画

- ・ 4月 防災訓練①（小中合同）
- ・ 5月 防災講演会「いのちの授業」
- ・ 7月 救命救急講習会
- ・ 9月 防災訓練②（小中合同）
- ・ 11月 防災訓練③
- ・ 3月 防災訓練④

②「いわての復興教育」副読本の活用

- ・ 世界の主な災害（そなえる）
- ・ 命のゴールキーパー（いきる）
- ・ 復旧にあらず、復興なり（かかわる）
- ・ 災害時の情報と心理（そなえる）
- ・ 森の防波堤で命を守る（いきる）
- ・ 地域の教訓を語り継ぐ（かかわる）

③避難訓練等

釜石市立大平中学校

①実施計画

- ・ 5月 「いのちの授業」講演会
避難訓練
地域ボランティア清掃
あいぜんの里訪問
- ・ 6月 救命救急学習会
- ・ 7月 キャップハンディ体験
あいぜんの里訪問
- ・ 9月 市防災訓練参加
防災授業
1年 避難所・簡易トイレ等
2年 災害・防災マップ等
- ・ 10月 地域交流会
防災授業
3年 炊き出し実習
あいぜんの里訪問

②防災授業（総合的な学習）

- ・ 簡易トイレ設置実習
- ・ 避難所デザイン
- ・ 米の炊き出し実習

③復興学習

- ・ 「地域交流」
あいぜんの里、平田公民館、鉄の歴史館、尾崎漁村センターとの生徒訪問による交流

□ かまいしコミュニティスクール推進事業

各小・中学校において、「地域に元気を与える」「郷土釜石の理解を深める」などの学校と地域と協働で取り組む活動等を推進した。

【実施校】小学校：全9校・中学校：全5校

【事業内容】

地域住民との交流活動、学校広報の発行と地域への配

□ かまいしコミュニティスクール推進事業を活用し、市内

小中学校児童生徒が卒業するまでに、郷土理解のための施設を全て見学や体験するようにしていきたい。

付、協働による花壇整備活動、地域清掃活動、地域施設を利用した体験活動、地域理解活動、地域行事を通じた交流活動、郷土芸能伝承活動、防災学習、鉄づくり、鉄の学習、ラグビー部活動、地域住民参加合同運動会等

□ かまいし絆会議

各小・中学校児童生徒の代表が集まり、RWC2019へ向けて、市内小・中学生全員が関わるものとしての巨大壁画制作、歌づくり、ビデオメッセージの制作を進めた。

- ① 第1回専門部会 5/30（木） 生徒10名参加
・モザイクアート完成除幕式に向けての打合せを行った。
- ② 第2回専門部会 6/24（月） 生徒10名参加
・PRビデオに込めた想いを共有した。
- ③ 第3回専門部会 7/16（火）
・PRビデオの撮影日程と内容について確認した。
- ④ 第1回かまいし絆会議 8/7（水）
・RWC期間中の活動について確認した。
- ⑤ 臨時専門部会
・PRビデオ完成試写会を行った。
- ⑥ RWC観戦 9/25
・ありがとうの手紙、PRビデオ披露
- ⑦ 第2回かまいし絆会議 12/26（木）
・10年後の釜石市はどんな町であってほしいかについて協議し、発表を行った。
- ⑧ 釜石市・大館市児童生徒交流会 2/7（金）
・オーストラリア森林火災への募金活動を確認し、実践交流を行った。

【学校給食センター】

□ 学校給食への地場産物利用

産直の食材納入意思の確認を行い、作付け前協議のほか現状・課題について情報共有を図り、食材の確保利用につなげた。

市内小中学校にラグビーかぼちゃ（ロロン、白栗）の掲示資料を配布し、また、学校給食に取り入れることで、ラグビーワールドカップの気運醸成を図った。

＜地場産食材利用状況＞

項目	22年度	23年度	…	30年度	元年度
品目数	3	2		10	11
使用数量	1,588kg	1,183kg		1,988kg	2,481kg

□ 食に関する指導

児童生徒が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け食事を通して自ら健康管理ができるよう、栄養教諭により、各教科等における食に関する指導や試食会等を活用した指導に取り組んだ。

＜指導実績＞

項目	22年度	23年度	…	30年度	元年度
実施回数	29回	11回		54回	48回
（授業）	11回	6回		47回	45回
（その他）	18回	5回		7回	3回

□ RWC日本開催に向けた取り組みの成果を生かし、今後も自分たちの住む地域のために何ができるかを考え、それを実践しようとする態度を育成する場として、「かまいし絆会議」を充実・発展させていく

□ 地場産物の作付け情報を共有し、ラグビーかぼちゃのほか新たな地元食材の活用を推進していく。

□ 学校に対し食に関する指導や試食会の実施について積極的に働きかけていくほか、食育だより等様々な機会を活用し「食育」の推進を図っていく。

□ 令和2年度から実施予定のアレルギー給食対応の準備を進めていく。

<p>教育関係機関等との連携を図った心のケア継続</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>□ こころのケア事業 子どもたちやその保護者、教職員の震災によるストレス障害などを早期に把握し、教育現場におけるきめ細やかなケアに対応できるよう、継続的、長期的な心のケア対策を充実させるため専門職を配置した。</p> <p>【事業内容】 スクールカウンセラー（臨床心理士）が各小・中学校を巡回（県派遣2人）</p> <p>① こころのサポート研修会 4/19（金） ・今年度の釜石市におけるこころのサポートの推進について（説明） ・「こころのサポート授業」について（講義と演習） ・グループ協議（①各校の年間計画について②取組の成果と課題について）</p> <p>② 定期的な児童生徒、保護者、教職員との面談。 ③ スクールカウンセラーによる校内研修会での講義、サポート授業でのチームティーチング。 ④ 保護者、教職員へ、気になる児童生徒への対応について、日常における支援についてのアドバイスをを行った。 ⑤ SSW や関係機関へつなげるきっかけ作りをしていた。</p> <p>□ 釜石市いじめ問題対策連絡協議会 関係機関（釜石警察署、宮古児童相談所、釜石市子ども課、釜石市少年センター）等が児童生徒のいじめに関する課題意識を共有し、いじめの未然防止と早期解決に資するため、年3回開催した。 第1回 7/10（水） 第2回 12/11（水） 第3回 2/26（水）</p>	<p>□ 児童生徒の心のケアは長いスパンで継続して取り組む必要がある。今後もスクールカウンセラー等の人的環境を整えるとともに、教職員の研修を実施し、組織的・長期的に取り組む体制を確立し、心のケアを推進していく。</p> <p>□ いじめの未然防止または早期解決のために関係機関と連携しながら対応し、被害児童生徒の心のケア適切に行う。</p>
------------------------------	--	--

② 生活・防災拠点としての教育環境整備

実施施策	令和元年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
<p>防災機能や地域コミュニティの拠点となる学校の建設</p>	<p>【総務課】</p> <p>□ 学校環境整備事業 学校施設・設備等の教育環境改善のため、小・中学校の校舎等について改修を実施した。 ・釜石小学校フェンス設置工事 ・平田小学校下水道切替工事 ・平田小学校浄化槽廃止工事 ・釜石中学校屋内運動場外壁（北面・南面）補修ほか工事 ・釜石中学校屋内運動場耐火被覆補修ほか工事</p> <p>□ 学校空調整備事業 夏季の熱中症対策として、小・中学校の普通教室及び特別支援教室に空調設備を設置した。 ・小学校空調整備工事（その1～3） ・中学校空調整備工事（その1～2） ・設置した教室数 小学校80教室、中学校33教室</p> <p>□ 栗林小学校グラウンド改修事業 栗林小学校グラウンドの水はけを改善する改修工事を実施するため、工事に係る測量及び設計を行った。</p>	<p>□ 適正な維持管理を行いながら、必要な改修を行う。</p>

	<p>【学校給食センター】</p> <p>□ 学校給食センター整備事業</p> <p>二つの調理場機能を集約し、学校給食衛生管理基準及び大量調理マニュアルに適合した新共同調理場を整備した。また、自家発電設備及び既存設備を活用し炊き出し可能な部屋を整備するなど、災害時対応できる機能を整えた。</p>	<p>□ 食物アレルギーを有する児童生徒へ対応する除去食・代替食の提供を二学期から開始する。</p>
命を守る教育の推進	<p>【学校教育課】</p> <p>□ いのちの教育</p> <p>釜石市の学校教育の目標である、「強く生き抜く力」の育成を図るために、各小・中学校における担当教員が「いのちの教育」の重要性や今後の方向性について理解を深めることにより、防災教育を核とした「いのちの教育」の充実に資することを目的に研修会を実施した。</p> <p>特に、第2回研修会では、大雨による土砂災害への対応を中心に、実践発表及び協議を行った。</p> <p>今年度も各小・中学校での取組をまとめた「令和元年度いのちの教育実践事例集」を作成した。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①第1回研修会 5/28（火） 14名参加</p> <p>講義：釜石市の「いのちの教育」について （学校教育課 指導主事 和田 智恵）</p> <p>講話：震災時を振り返って （いのちをつなぐ未来館 菊池 のどか）</p> <p>協議：各中学校区における「9年間を見据えたいのちの教育」について</p> <p>②第2回研修会 2/10（月） 15名参加</p> <p>実践発表①：学校防災アドバイザー派遣事業を活用した大雨ワークショップ （釜石中学校 教諭 佐守 央美）</p> <p>実践発表②：親子で取り組んだ土砂災害ハザードマップづくり （大平中学校 教諭 佐々木 憲子）</p> <p>協議：土砂災害対応に関わる今年度の取組の振り返りと次年度の活動計画等。～9年間を見据えたいのちの教育を含め～</p>	<p>□ 「いのちの教育」の推進は、当市の学校教育の中心をなすものである。今後も継続的・発展的にいのちの教育が推進されるように研修会及び各校における取組を行っていく。そのためにも、小中連携を深め、小・中9年間を見据えた「いのちの教育」を推進していく。</p>

2 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり（基本目標7）

総 合 評 価	
<p>【総務課（現：文化振興課）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第24回釜石市郷土芸能祭を開催し、郷土芸能の発表の場を創出するとともに、地域コミュニティの形成と伝統文化の継承の一助となった。 ・三貫嶋神社鰐口、釜石鉱山山神社山神碑を新たに文化財指定し、市内に残る貴重な文化財の保存・活用に寄与した。 ・市指定史跡である屋形遺跡について国指定に向けた内容確認調査を実施し、文化庁への意見具申の準備を行った。 ・鉄づくり体験事業を実施し、鉄づくり体験やふるさと歴史講座を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図った。 <p>【世界遺産課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山を基軸とした「釜石の製鉄の歴史」を積極的に周知活用、保存管理していくとともに、所管施設である橋野鉄鉱山インフォメーションセンター、鉄の歴史館、旧釜石鉱山事務所を適切に管理・運営していくため、産学官が連携した「鉄のふるさと釜石創造事業実行委員会」を組織し、通年で「近代製鉄の歴史と文化」の周知に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」の調査に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」を物語る遺産や文化財の保存・管理に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」を活用していくための検討（人材育成）を行った。また、12月1日の鉄の記念日を中心とする前後2週間を鉄の週間と位置づけ各種事業を展開した。 <p>ラグビーワールドカップの開催に併せ、インバウンド対策（看板や解説書の作成）も行った。</p>	

取組項目		個 別 評 価
1	歴史遺産の活用と芸術文化の振興	<p>【総務課（現：文化振興課）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災した郷土芸能団体に民間法人等の助成金を利用した用具などの整備を行った。また、山車の格納庫や用具倉庫等の整備を対象とした郷土芸能復興支援事業を実施し、郷土芸能団体の再整備化に取り組んだ。 ・市指定史跡屋形遺跡について国指定に向けた内容確認調査を実施し、保存・活用の準備を行った。 ・三貫嶋神社鰐口、釜石鉱山山神社山神碑を新たに文化財指定し、市内に残る貴重な文化財の保存・活用に寄与した。 ・埋蔵文化財について各種照会に対応し、被災者の住宅再建や復興公共事業等に伴う試掘調査、発掘調査（釜石鉱山鉄道一ノ橋橋台跡）等を実施した。また、遺跡の分布調査を行い、縄文時代前期の遺跡の一部を明らかにした。 ・第24回釜石市郷土芸能祭を開催し、郷土の歴史や文化財の継承の一助となった。 <p>【世界遺産課】</p> <p>世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山を基軸とした「釜石の製鉄の歴史」を積極的に周知活用、保存管理していくとともに、所管施設である橋野鉄鉱山インフォメーションセンター、鉄の歴史館、旧釜石鉱山事務所を適切に管理・運営していくため、産学官が連携した「鉄のふるさと釜石創造事業実行委員会」を組織し、通年で「近代製鉄の歴史と文化」の周知に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」の調査に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」を物語る遺産や文化財の保存・管理に関する事業、「近代製鉄の歴史と文化」を活用していくための検討（人材育成）を行った。また、12月1日の鉄の記念日を中心とする前後2週間を鉄の週間と位置づけ各種事業を展開した。</p> <p>令和元年度はラグビーワールドカップの開催にあわせ、インバウンド対策（看板や解説書の作成）も行った。</p>

【取組項目】

① 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

実施施策	令和元年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
橋野高炉跡の ユネスコ世界 遺産登録の推 進と近代化遺 産の活用	<p>【総務課（現：文化振興課）】</p> <p>□鉄づくり体験事業 鉄づくり体験やふるさと歴史講座を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図った。</p> <p>○鉄づくり体験（総合学習支援の一環として）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲子中学校鉄づくり体験 開催日：令和元年8月27日（火）・9月9日（月） 会 場：甲子町大橋旧釜石鉱山事務所横（釜石鉱山敷地） 参加者：甲子中学校1年生 内 容：甲子中学校では1年生が総合学習として「鉄の学習」に取り組んでいるが、鉄づくり体験は、その一環として実施したもの。 ・釜石小学校鉄づくり体験 開催日：令和元年11月21日（木）・22日（金） 会 場：釜石小学校校庭 参加者：釜石小学校5年生 概 要：釜石小学校では毎年5年生が鉄づくり体験に取り組んでいる。 <p>○鉄の検定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受検者 小中学生：令和元年11月25日（月）～12月6日（金） 各学校で実施、全体で192名 一 般：令和元年12月1日（日） 教育センターで実施、4名 ・表彰式 開 催 日：令和2年1月11日（土） 表彰対象者：小中学生：1級2名・2級1名 （表彰5名） 一 般：1級なし・2級なし <p>【世界遺産課】</p> <p>□「近代製鉄の歴史と文化」の周知に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄の講座（小中学校）1校 施設見学（橋野鉄鉱山）4校 （鉄の歴史館）6校（うち鑄造体験3校） （旧釜石鉱山事務所）3校（うち岩石採集2校） ・鉄の出前講座（一般）5件 849人 ・みんなの橋野鉄鉱山 清掃活動及び遊歩道の整備と講演会を実施。（6/2(日)） 講演「橋野高炉跡を掘る」市世界遺産課主任 高橋岳 「明治時代の橋野高炉」同 課長補佐 森一欽 参加者 60人 ・橋野鉄鉱山稼働時代の森づくり育樹祭 三陸中部森林管理署との共催により橋野鉄鉱山三番高炉東側の国有林の除伐や枝打ちを実施。（10/22(火)祝） 参加者66人 ・鉄の歴史館事業 企画展「災害と製鉄所」を開催。（6/19(水)～8/26(月)） 	<p>□引き続き、「ものづくりの精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図る。</p> <p>□中学校卒業までに、1回は橋野鉄鉱山、鉄の歴史館、旧釜石鉱山事務所を見学してもらえるよう、小中学校と協議していく。あわせて交通手段の確保も考える。</p> <p>□継続的に一般参加の事業を開催していく。</p>

	<p>幾多の災害に遭いながら今日まで約140年間続いている製鉄所を災害と復興をテーマに紹介。(三陸復興プロジェクトと連携) 期間中来館者4,659人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧釜石鉱山事務所事業 夏休み特別企画「鉱山(やま)の宝探し」を開催。 (7/29(月))・岩石の種類を学ぶとともに標本箱を作る。 講師 山澤茂行釜石鉱山(株)社長 参加者11人 <p>□「近代製鉄の歴史と文化」の調査に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二番高炉周辺の発掘調査及び試掘調査 二番高炉の覆屋建物の発掘調査及び二番高炉北側・北西側の試掘調査を実施。(8/26(月)～12/6(金))あわせて現地説明会を実施。(11/2(土)) ・説明会参加者36人 ・採掘場跡の三次元測量の実施。採掘場跡の3次元測量を継続実施。※今年度は露天採掘場及び中央石垣付近。(10/23(水)～3/20(金)) <p>□「近代製鉄の歴史と文化」を物語る遺産や文化財の保存・管理に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石垣微動調査 二番高炉西側の水路石垣及び南側の平場石垣を対象に石垣の安定性評価を目的とした調査を実施。(6/4(火)～3/25(水)) <p>□「近代製鉄の歴史と文化」を活用していくための検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石市新採用職員研修 橋野鉄鉱山を始めとする釜石の鉄の歴史を学び釜石市職員として必要となる能力を習得する研修を実施。 (5/15(水) 鉄の歴史館～橋野鉄鉱山) ・参加者31人 ・「明治日本の産業革命遺産」ガイド研修 世界遺産価値等の理解増進を図りガイド活動における関係地域間の連携・交流を深める研修を実施。(2/4(火)～5(水) 熊本県熊本市) 釜石市からの参加者7人 ・「明治日本の産業革命遺産」人材育成研修会 (2/25(火))「明治日本の産業革命遺産」全体の価値、構成資産の位置付けについて共通した内容で説明を行えることを目的に各エリアで研修を実施。釜石 PIT にて参加者40人 ・釜石地区管理保全協議会 「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山が関係者の連携の下、関連法令及び橋野鉄鉱山管理保全計画に則って的確に管理保全されることを目的として設置。(5/31(水)) ・橋野高炉跡史跡整備検討委員会 国史跡橋野高炉跡を適切に保存活用していくための検討を行う目的で設置。(第1回：7/11(木)・第2回：2/19(水)) ・鉄のふるさと釜石創造事業実行委員会 近代製鉄発祥の地釜石がこれまで培ってきた「ものづくりの魂」と「近代製鉄の歴史・文化」を再認識しながら次世代に継承し、まちづくりのエネルギーとすることを目的に産学官で構成された実行委員会を設置。 7/12(金) ・海外専門家によるインタープリテーション監査 ユネスコに提出するインタープリテーション計画策定 	<p>□二番高炉ブロック整備に向けて、遺構の確認及びその価値の向上を目指す。</p> <p>□水路石垣などの適切な修復、公開に向けて、調査や設計を進めていく。</p> <p>□市役所職員だけでなく、釜石新着・新任教職員の研修対象となるよう働きかける。</p>
--	--	---

	<p>に向けて「明治日本の産業革命遺産」の各エリアで海外専門家による施設視察及び展示点検を実施。 釜石での監査8/27(火)～28(水)</p> <p>□鉄の週間事業(世界遺産課主催事業のみ列举)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄の学習発表会 小中学生が鉄の学習の成果を発表。(11/30(土) イオンタウン釜石) (釜石商工高校)「釜石の鉄の歴史」 (釜石中学校)「旧釜石鉱山事務所の見学から学んだこと」 (甲子中学校)「甲子学・鉄の町釜石～今と昔～」 来場者約70人 ・鉄の記念日に無料入館措置を実施。(12/1(日)) 当日入館者 鉄の歴史館：172人 旧釜石鉱山事務所：91人 ・鉄の歴史館鉄の記念日企画展「鐵の鉄道展」(11/23(土)～1/13(月)) 釜石製鉄所と釜石鉱山を結ぶ鉄道に関する資料を展示 期間中入館者1,584人 ・旧釜石鉱山事務所鉄の記念日企画展「社宅街－製鉄所と鉱山が作ったまち－」(11/23(土)～12/8(日)) 釜石製鉄所及び釜石鉱山の社宅街に関連する資料を展示 期間中入館者91人 ・鉄の週間パネル展 「平泉の文化遺産」「明治日本の産業革命遺産」「北海道・北東北の縄文遺跡群」を紹介するパネル展を実施(11/23(土)～12/8(日) シープラザ釜石) ・令和元年度発掘調査速報展(11/1(金)～12/8(日)) 橋野鉄鉱山インフォメーションセンター 期間中入館者1,553人 	<p>□近代製鉄発祥150周年記念事業以来12年継続している。内容等を精査し、より効果的なイベント展開を考える。</p>
郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援	<p>【総務課(現：文化振興課)】</p> <p>□郷土芸能復興支援事業</p> <p>震災津波で被災した釜石虎舞をはじめ、神楽、太鼓等の団体に対して、各種団体等からの補助等の支援活動を紹介。必要に応じて、直接市からの補助金等の支出についても検討しながら、失った機材や活動場所等の確保を図った。</p> <p>○助成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能復興支援事業費補助金 …南部藩壽松院年行司支配太神楽(山車保管庫等) 東前太神楽(山車保管庫) ・アサヒグループ補助金 …只越虎舞(半纏)・田郷鹿踊り(太鼓・R2年度継続中) 	<p>□ 令和2年度も各種助成金を活用して実施する。</p>
埋蔵文化財の調査と指定文化財の復旧	<p>【総務課(現：文化振興課)】</p> <p>□埋蔵文化財保存事業</p> <p>地域社会の歴史をあとづける貴重な文化遺産であり生きた学習の場を提供する埋蔵文化財が永久に失われてしまうことを避けるため、記録保存を行った。</p> <p>令和元年度は各種開発行為に係る照会等に対応した。また、復興事業(区画整理事業等)や個人住宅建築等に伴い、事業予定地内に存在する埋蔵文化財包蔵地(遺跡)の試掘調査と発掘調査を実施した。</p> <p>○埋蔵文化財包蔵地(遺跡数) 318遺跡</p>	<p>□ 復興事業及び復興に伴う個人住宅の建築を停滞させることの無いよう、全力を挙げていく。また、調査で得られた文化財やデータなどを、現地及び郷土資料館の企画展などで発表・展示し市民への周知を図る。</p>

	<p>○埋蔵文化財照会 65件 ○慎重工事 3箇所 ○立会調査 9箇所 ○試掘調査 8箇所 ○本発掘調査 2箇所 〔発掘調査箇所〕 屋形遺跡個人住宅緊急発掘調査 釜石鉱山鉄道一ノ橋橋台跡緊急発掘調査 ○市内遺跡分布調査 縄文時代前期遺跡の分布調査</p> <p>□屋形遺跡貝塚保存活用事業 平成27年度の緊急発掘調査で出土した縄文時代の遺物（土器・石器・骨角器・貝類・魚骨類）を包含する屋形遺跡の貝塚について、専門家の意見を伺いながら、保存・活用を進めた。</p> <p>①令和元年度第1回屋形遺跡調査指導委員会 開催日：令和元年7月10日 会 場：教育センター2階 教育委員会室 内 容：屋形遺跡の価値等について検討した。</p> <p>②範囲内用確認調査（第4次調査） 期 間：令和元年7月1日～8月5日 内 容：屋形遺跡の内容を把握し、国指定史跡に向けて調査・測量を実施した。</p> <p>③屋形遺跡現地説明会 開催日：令和元年8月3日 場 所：釜石市唐丹町字屋形（屋形遺跡） 参加者：18人 内 容：範囲内容確認調査の成果を公開した</p> <p>④発掘調査報告書の作成 「屋形遺跡発掘調査報告書2」刊行</p> <p>□史跡等周知促進事業（交付金事業） 東日本大震災において被災した市指定文化財の修復を行った。</p> <p>○平田御番所跡・本郷御番所跡 流出した標柱・看板の設置について場所の調整</p> <p>□被災文化財調査事業（復興関連・台風19号関連） 東日本大震災とその後の余震により、流出、倒壊、損傷した文化財については、平成24年度から被災地域の文化財の被災状況調査を実施した。令和元年度も文化財の被災の有無・現状の調査を継続した。令和元年に発生した台風19号の被害調査を行い、復旧作業を検討した。</p> <p>○東日本大震災関連 ・津波記念碑 ①鵜住居常楽寺内の1基所在不明 ②倒壊等要修復 片岸町室浜/転倒2基、箱崎町大仮宿 /転倒3基、唐丹町本郷/破損1基 ③唐丹町本郷の破損した津波記念碑は（一社）文化財保存修復学会に調査を依頼し、修復方法について意見を頂いた。</p> <p>・鵜住居・片岸・唐丹地区の石碑 石碑の所有者等の意向により暫時、設置中（復興推進本部ほか）</p> <p>・平田追分の碑</p>	<p>□ 令和2年度は国指定史跡を目指す範囲の調査と測量を実施し、文化庁に国指定史跡に係る意見具申を行う。</p> <p>□ 事業にあたっては、浸水区域内の復興事業の進捗状況を勘案し、浸水区域外にある損壊した文化財、史跡等の修復にも取り組んでいく。</p> <p>□ 調査対象を東日本大震災に限らず風水害等によるものとし、貴重な文化財の保存に努める。</p>
--	---	---

	<p>平田地区生活応援センター敷地内に設置した。</p> <p>○台風19号関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女坂の一里塚（市指定） 東側の塚の一部が崩落した。次年度以降に復旧等を検討する。 ・アーチ橋梁[1号橋・2号橋]（市指定） 2号橋付近の道路が流失したが、建設課による普及が完了した。 ・本郷御番所跡（市指定） 土砂により埋没し、一部掘削を受けたが、建設課による復旧が完了した。 <p>□文化財標柱設置事業</p> <p>市内に点在する文化財や伝承される文化財を、市民に周知し、保護・保存の意識を促すことを目的に標柱を設置する。</p> <p>○標柱作製</p> <p>次年度の看板及び標柱の設置箇所を検討した。</p> <p>□文化財保護事業</p> <p>釜石市にある文化財の適正な保護と活用を図るため、文化財保護審議会を開催して、文化財の指定等の諮問に対する答申などを受けた。</p> <p>また、指定・未指定にかかわらず、被災地域を中心として文化財目録の洗い出しを行い、貴重な文化財の発掘及び指定促進を図った。</p> <p>○文化財保護審議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 開催日：令和元年6月28日（金） 会 場：教育センター 内 容：①平成30年度文化財保護と活用事業の実施状況について ②令和元年度文化財保護と活用事業の計画について ③令和元年度釜石市文化財指定推進物件の取扱いについて ・第2回 開催日：令和元年11月19日（火） 会 場：教育センター 内 容：①台風19号被災文化財につて ②令和元年度釜石市文化財指定推進物件について ③第24回郷土芸能祭進捗状況について ・第3回 開催日：令和2年2月14日（金） 会 場：教育センター 内 容：①令和元年度釜石市文化財指定推進物件について <p>○文化財パトロール</p> <p>開催日：令和元年7月23日（火）</p> <p>場 所：①仮宿三貫嶋神社鰐口、②箱崎神社境内林、③津波記念碑、④旧釜石鉱山事務所、⑤大島二代彰徳碑、⑥釜石鉱山神社山神碑</p> <p>○文化財調査事業 通年/市内全域</p> <p>市内の指定文化財の保存と維持管理、史跡の保存及</p>	<p>□引き続き、市内の文化財の掘り起こし、新規指定に取り組んでいく。</p>
--	--	---

び景観の保持、文化財指定を促進した。

①調査等

- ・釜石市文化財保護審議会委員による調査
- ・各種関係団体による調査への協力
- ・教育委員会総務課職員による調査

②新規指定文化財]

- ・仮宿三貫嶋神社鰐口
- ・釜石鉱山山神社山神碑

③指定・登録文化財件数

- ・文化財指定件数(国・県・市) 計71 件
国指定文化財 2件
県指定文化財 6件
市指定文化財 63件
- ・国登録有形文化財(建造物) 1 件

□特別天然記念物保護処理事業

「文化財保護法」及び「特別天然記念物の管理に関する法律」の規定により、国指定の鳥獣の保護管理と滅失した時に処理を行った。

○カモシカの保護と処理

- ①出動件数 33件
- ②滅失件数 14件

□釜石市指定文化財管理委託

- 管理委託件数 59件

□文化財所蔵資料整理公開事業

当課で管理している文化財資料を整理し公開する。

①収蔵庫整理

出土遺物の収納、整理を行った。

②展示公開

郷土資料館及び教育センター1階に、屋形遺跡の遺物を展示した。教育センター1階は中学生の職場体験による。

□出前講座事業

生涯学習文化スポーツ課で所管する生涯学習まちづくり出前講座の開催を通じて市民に郷土の歴史についての理解を促し、文化財愛護思想の高揚を図った。

○生涯学習まちづくり出前講座

・メニュー

- ①縄文の道具(1件)、②釜石の歴史(11件)、③釜石の史跡(1件)、④鉄の講話(2件)

・件数: 15件

□文化財なんでも体感事業

市内各所に所在する文化財を活用し、市民に郷土の歴史への理解を促す。また、この事業を契機に文化財愛護思想の高揚を図る。

○平田・唐丹めぐり

開催日: 令和元年10月31日(木)

案内人: 釜石市文化財保護審議会 河東直江委員
教育委員会総務課 手塚新太

参加者: 15人

見学箇所: 平田追分碑、星座石、本郷御番所跡、本郷

	<p>津波記念碑、盛岩寺（津波記念碑）、天照御祖神（常龍山碑・三扁額）、屋形遺跡</p> <p>□文化財公開事業 釜石市内の文化財を公開し、市民が郷土にある貴重な資料に触れる機会を創出した。そのなかで郷土の歴史や文化財の重要性、保護の必要性を認識していただくとともに、郷土愛を育む。 ※隔年事業のため令和元年度は未実施。</p> <p>□ 郷土芸能祭開催事業 釜石市内に伝わる無形民俗文化財の保護と活用を通じて「かおり高い文化のまちづくり」を推進するため、釜石市郷土芸能祭を開催した。 ○実行委員会 年2回開催 ○第24回釜石市郷土芸能祭 開 催 日：令和元年12月8日（日） 会 場：釜石市民ホール TETTO ホールA 出演団体：荒川熊野権現御神楽 正調釜石浜唄 箱崎虎舞 橋野鹿踊り 浦浜念仏剣舞（特別出演） 来 場 者：450人</p> <p>□歴史はっけん事業 地域に残る歴史・文化財の掘り起こしを行い、計画的な保存活用を行うため、釜石市文化財保存活用地域計画策定のための準備を行った。</p>	<p>□ 隔年開催のため、次回は令和2年度を予定している。</p> <p>□ 隔年開催のため、次回は令和3年度を予定している。</p>
--	--	---

3 絆と支えあいを大切にするまちづくり（基本目標2）

総 合 評 価	
<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園舎の維持管理を行うことで年齢に相応しい適切な環境を整え、より良い幼児教育の実践に努めた。 <p>【生涯学習文化スポーツ課 現：まちづくり課・図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代、又は地域のニーズに応じた生涯学習の機会を提供することにより、学びと実践が循環する生涯学習社会の推進が図られた。 ・学校、地域及び行政との連携・協働・支えあいにより、子ども達が安心して学び、遊べる教育環境の確保が図られた。 ・公民館や図書館等の施設の老朽化が進んでいることから、維持補修を実施し利用者の安全性と利便性の向上に努めた。今後も計画的な整備、維持管理を行う必要がある。 	

取組項目		個 別 評 価
1	安心できる子育て環境の整備	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、鶴住居幼稚園の適切な維持管理に努めた。
2	学びが実践につながる生涯学習社会の形成	<p>【生涯学習文化スポーツ課 現：まちづくり課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業については、市民のニーズや置かれた環境に即し、ライフステージに応じた学習機会の提供を行うとともに、地域のニーズに応じた事業実施に努めた。 ・公民館分館については、老朽化が激しい施設が多いことから、今後も計画的な整備、維持管理に努める。 ・地域の協力を得ながら、子どもたちの安心安全な居場所づくりに努めた。 ・生涯学習まちづくり出前講座、立正大学デリバリーカレッジ等の世代を超えた生涯学習事業については、定着化が図られているが、受講者の固定化や減少傾向がみられることから、ニーズの把握、事業展開が必要である。 ・教育振興運動、地域学校協働活動体制推進事業等の関係機関が連携して学習支援、教育課題に取り組む事業については、充実した活動が実施されるとともに、実施校の増加等進展が図られた。 <p>【図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書企画展や市民教養講座の開催、移動図書館車の運行、ブックスタート事業など読書活動を推進し、様々な世代のニーズに合わせた生涯学習の機会と場の提供に努めた。

【取組項目】

① 安心できる子育て環境の整備

実施施策	令和元年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
被災した幼稚園等の整備	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月に新園舎が完成した後は、引き続き施設の適切な維持管理に努めている。 	<input type="checkbox"/> 園舎の適切な管理を行う。

② 学びが実践につながる生涯学習社会の形成

実施施策	令和元年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
公民館や図書館などの早期	<p>【生涯学習文化スポーツ課 現：まちづくり課】</p> <p><input type="checkbox"/> 公民館・分館維持管理</p>	<input type="checkbox"/> 公民館分館は老朽化が激しい

ことの大切さを伝えるとともに、親子のふれあい創出の一助とした。

・もぐもぐごっくん教室と併催・6ヶ月健診と併催

○映画会等：11回

優れたアニメ等の映画ビデオの上映を通して、図書館利用の促進を図った。

・としょかん映画会：168人観覧

○出張！図書館サービス：16回/456人参加

生涯学習文化スポーツ課やボランティア団体と連携し、図書館を利用する機会が少ない方々のところに出向き、読み聞かせやDVD等を上映した。

○手づくり絵本教室：2回（4日間）/19人参加

絵本への愛着とものを作り上げる喜び（達成感）を感じてもらう機会とした。

○図書館こどもまつり：62人参加

多読賞の表彰、大型紙芝居、絵本読み聞かせ、DVD上映、スタッフ体験を通して、親子で図書館に親しむ機会とした。

○体験学習等：13回/265人参加

図書館についての理解を深めるための学習機会を提供した。

・中学生職場体験学習・教職経験者社会体験研修・施設見学

○図書館報の発行：10回

図書館の利用案内や催事情報などの提供のため学校を通じて市内全小学生に「ふれあい通信」を配布した。中学生以上の方へも「もっと！ふれあい通信」の発行を開始し、館内及び各地区生活応援センターでの掲示やホームページ掲載を行い、図書館の利用促進を図った。

○移動図書館の運行：1,723人利用/4,856冊貸出

市内遠隔地や福祉施設、学校等市内60ヶ所を巡回した。

○団体貸出：通年/416件貸出

市内小学校や幼保施設、読書ボランティア団体などを対象に図書館資料を貸出した。

○朗読奉仕：12回

朗読奉仕「ハマナスの会」の協力により、地元紙の一部を朗読して録音し、希望者10人に送付した。

○おはなし広場：10回/45人参加

「颯・2000の会」の協力により、来館した幼児・児童に絵本の読み聞かせを定期的に実施した。

<図書館年間利用人数及び貸出冊数>（移動図書館含む）

22年度	23年度	...	30年度	元年度
27,635人	22,432人		25,199人	22,793人
92,205冊	75,234冊		84,264冊	76,127冊

ライフステージに応じた学習機会の創出

【生涯学習文化スポーツ課 現：まちづくり課】

□家庭教育子育て支援事業

○就学時健診を利用した子育て学習講座

元氣な命のリズムは「早寝・早起き・朝ごはん」から
〔開催日/会場/対象〕

① 11.7（木）/栗林小/栗林小6名

□小学校入学前の子どもを持つすべての保護者が一堂に会する有効な機会なので、今後も継続して実施する。次年度以降も、就学時健診を同様の方

- ② 11.12(火)/白山小/白山小9名
- ③ 11.13(水)/小佐野小/小佐野小52名
- ④ 11.19(火)/甲子小/甲子小43名 合計 110名
- 9.20(金)/沿岸南部地区子育て支援ネットワーク研修会/3名出席
- 10.1(火)/子育て・家庭教育相談担当者研修会Ⅰ/1名出席
- 2.17(月)/子育て・家庭教育相談担当者研修会Ⅱ/3名出席

□地域学校協働活動体制推進事業

地域と学校の連携・協働により子どもの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（本部）をつくり、地域コーディネーターの配置・企画調整のもと、地域住民等からなるボランティアの参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行った。

令和元年度は本部設置増（甲子小学校、白山小学校）となり、5校で実施する。

〔実施校〕釜石小学校、栗林小学校、鶴住居小学校、甲子小学校、白山小学校

〔活動回数（5校）〕911回

〔地域住民等の参画人数（5校）〕延約8,000人

〔運営協議会〕

○釜石小学校区協議会

①5.31(金)/釜石小学校/委員等9名出席

②2.26(水)/釜石小学校/委員等8名出席

○栗林小学校区協議会

①7.9(火)/栗林小学校/委員等13名出席

②2.28(金)/栗林小学校/委員等8名出席

○鶴住居小学校区推進会議

①4.25(木)/鶴住居小学校/委員等10名出席

○白山小学校区会議

①5.7(火)/白山小学校/委員等10名出席

②2.14(金)/白山小学校/委員等10名出席

〔研修等〕

○地域学校協働活動推進員（コーディネーター）養成研修講座

7.3(水)/県生涯学習推進センター/地域コーディネーター等3名出席（当市コーディネーターの事例発表あり）

○「いわて地域学校連携促進事業」訪問説明会対応

7.25(木)/市教育センター岩手大学釜石教室/県教委職員による/教育長ほか8名対応

○地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修会【基礎編】

9.26(木)/県生涯学習推進センター/地域コーディネーター等2名出席（当市コーディネーターは指導者として出席）

□教育振興運動

各実践区において、5者それぞれの役割を果たしながら相互に連携して地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力の向上を図るため、研修機会の提供、情報提供や情報交換、実践区活動再構築への支援、運営経費への補助等を行った。

法（身体測定は合同、知能検査は学校別に実施）で行う場合、開催希望校が重複した際の調整が課題となる。また、全児童の保護者を対象とした講座の開催についても検討を要する。

□既実施校では安定継続を基本としながらも、本事業の効果や、新学習指導要領でも掲げられた「社会に開かれた教育課程」の実現施策として、各校における本部または同等の体制の構築を図る。現在、復興関連予算で実施していることから、今後の事業予算の確保が主たる課題となっている。

□本運動の中心となる実践区では、今後も工夫された多様な実践活動の展開が期待されるが、子どもを支える4者（保護者、学校、地域、行政）の関わりの強化を図りながら、

〔時 期〕 通年
 〔対 象〕 子ども、保護者、学校、地域、行政
 〔内 容〕 協議会総会、各実践区による活動、集約集会の開催、「情報メディアとの上手な付き合い方」の普及啓発、教振だよりの発行等

〔研修・協議会集会〕

○研修

- ・教育振興運動市町村担当者研修会
 5. 15(水)/県立生涯学習推進センター/2名出席
- ・地域とともにある地域づくり推進フォーラム・管内教育振興運動推進研修会
 7. 9(火)/大船渡市立三陸公民館/24名出席

○協議会集会

- ・釜石市教育振興運動協議会推進委員会
 6. 6(木)/市教育センター/17名出席
- ・釜石市教育振興運動協議会総会
 6. 25(木)/釜石市民ホール TETTO/56名出席
 実践区グループワーク開催
- ・釜石市教育振興運動協議会集約集会
 (釜石市 PTA 連合会研究発表大会と合同開催)
 2. 8(土)/沿岸広域振興局/78名出席
 活動発表①:「小佐野ふれあいデー」について
 活動発表②: 情報メディアに関する取組みについて
 講話:「みんなで教振! 5か年プラン」の取組状況
 と今後の教育振興運動について
- ・教育振興運動55周年集約大会
 1. 15(水)/いわて県民情報交流センター アイーナ
 /2名出席

□ 放課後子ども教室推進事業

子どもたちが安心して遊び学ぶことができる教育環境を確保するため、放課後等における活動拠点(居場所)として放課後子ども教室を開設し、地域住民等の参画を得て、自由活動の見守りのほか、多様な学習機会(体験学習・スポーツ等)を提供した。

全体としては、教室1回あたりの子どもの参加人数は増加傾向(経年比)にあり、放課後子ども教室が子どもと地域を結び、地域の中で学び育つ場としての理解浸透が図られている。

〔時 期〕 通年

〔対 象〕 子ども、地域住民

〔実施回数(全教室)] 300回

〔教室名・場所・基本実施日等〕

- ① 「ばしょまえ交流館」
 釜石小学校区/カトリック釜石教会/週2回
- ② 「ふたば放課後子ども教室」
 双葉小学校区/双葉小学校地域連携施設/週1回
- ③ 「小佐野放課後ひろば」
 小佐野小学校区/小佐野公民館/週1回
- ④ 「平田 MOSICA」
 平田小学校区/平田復興住宅集会室/週1回
- ⑤ 「かっしっこひろば」
 甲子小学校区/甲子公民館/週1回
- ⑥ 「鶴住居子どもひろば」
 鶴住居・栗林小学校区/仮設住宅談話室ほか/週3回

本運動を通じ地域全体で子どもを育てる体制をさらに醸成していく。

□子どもの活動の見守りや学習サポートを担う安全管理員が減となったことに伴い、一時期、教室開催数も減となった教室もあるなど、各教室単位では種々の課題もあるため継続安定的な実施の確立や、中長期的視点をもちながら実施していく。現在、復興関連予算で実施していることから、今後の事業予算の確保が課題である。

〔研修等〕

○安全管理員研修

11. 13(水)/中妻体育館/13名出席

【放課後子ども教室利用者数】

22年度	23年度	…	29年度	30年度	元年度
3,018人	335人		4,435人	4,492人	4,252人

□ 子どもの読書活動推進事業

学校、図書館、ボランティア団体との連携により、子どもの感性、表現力、想像力の豊かさを育む読書活動を推進した。また、研修会等へ参加し、それぞれのスキルを高めることができた。

○絵本カーによる活動

市内小学校や子育て支援施設、学童育成クラブ、仮設住宅団地、放課後子ども教室など市内16カ所を182回巡回/のべ3,190名利用

○管内子どもの読書活動推進会議

5. 9(水)/大船渡地区合同庁舎/5名出席(読書ボランティア含む)

○読書ボランティア研修会①

6. 18(火)/県生涯学習推進センター/8名出席(読書ボランティア含む)

○読書ボランティア研修会(沿岸南部)

8. 21(水)/大船渡市立三陸公民館/6名出席(読書ボランティア含む)

○釜石市子どもの読書推進活動 ボランティア講座

11/22(金)/市立図書館/20名出席
講師：颯・2000の会 本田敬子 氏

○生涯学習まちづくり出前講座

「絵本カーによる読み聞かせ」の開講
・5. 8(水)、6. 5(水)、6. 27(木)、7. 24(水)、
12. 24(火)、1. 24(金)/のべ72名

※事業は市民を対象として、通年募集しているもの。

○第3次釜石市子どもの読書活動推進計画の改訂

第3次計画(5か年)の最終年度であったため、第4次計画の策定に向け、市内小・中学校や読書ボランティア団体を対象としたアンケート実施、連絡会議の開催、パブリックコメントの募集等を行っており、令和2年4月に策定。

□ 国際理解支援事業

市国際交流協会との共催事業や外部からの支援事業を活用し、各種講座やイベントを実施した。

○英会話講座 ※市国際交流協会との共催事業

講師 クリスティス・ノア・アーロン

①初級英会話講座(前期)

5. 14(火)～7. 16(火)/10:15～11:30/毎週火曜/
受講者10名、のべ79名/全10回

②初級英会話講座(後期)

10. 10(火)～12. 12(火)/10:30～11:30/毎週火曜/
受講者11名、のべ100名/全10回

③外国語広場

6. 14(金)～7. 19(金)/19:15～20:30/毎週金曜/
講師21名、のべ71名/全6回

□市生涯学習推進計画や第4次子どもの読書活動推進計画に基づき、各関係機関等とさらに連携強化を図り事業を推進する。当課が主体となって開催している市内の読書ボランティア対象の研修会は、ボランティアの横の繋がりが生まれる有意義な機会となっており、今後も継続的に実施したい。

□外国人と触れあう機会となり、参加者から、満足度の高い内容や継続実施を望む声が多く聞かれている。今後も各種団体と連携し、ニーズに応えられるような講座の充実を図る。

	<p>○外国人のための日本語教室 5. 19(日)～12. 15(日)/10:00～12:00/毎月第3日曜 /受講者22名、のべ41名/全6回 ※7. 21(日)は衆議院議員選挙のため休講 10. 20(日)、1. 19(日)以降は事情により中止</p> <p>○English Camp in Iwate 2019 ※アールム大学、岩手大学主催事業 11. 19(土)～11. 10(日)/国立岩手山青少年交流の家/市 内中学生4名、市関係者2名参加</p> <p>□ こどもエコクラブ（生活環境課事業とも連携し実施） 自然の中での様々な体験活動を通じて、自然環境への 理解を深め、環境保全に配慮した行動ができる資質を育 むことを趣旨に、関係団体等の協力を得ながら実施し た。 〔内容・参加者数等〕</p> <p>①野鳥観察会 6. 2(日)/福祉の森/11名参加</p> <p>②水生生物調査（釜石小学校） 6. 7(金)/小川（ワッカラ淵）/4年生児童28名参加</p> <p>③ホタル観察会 7. 5(金)/小川（ワッカラ淵）/30名参加</p> <p>④海で遊ぼう！学ぼう！in 杉の浜（釜石小区放課後子ど も教室） 8. 8(木)/杉の浜（平田）/7名参加</p> <p>⑤水生生物調査（栗林小学校） 8. 21(水)/鶴住居川/3・4年生児童16名参加</p> <p>⑥水生生物調査（甲子小学校） 8. 27(火)/甲子川（松倉）/4年生児童49名参加</p> <p>⑦水生生物調査（鶴住居小学校） 8. 29(木)/雨による増水のため校内で座学/3年生児 童21名参加</p> <p>⑧星空観察会 1. 27(月)/市教育センター（悪天候のため座学）/32 名参加</p> <p>⑨バードウォッチング（釜石小区放課後子ども教室） 2. 24(月)/甲子川（大渡）</p> <p>□ 岩手大学生涯学習講座 令和元年度は実施せず。</p> <p>□ 立正大学デリバリーカレッジ 市民が生涯学習に関心を持ち実践するきっかけとする ことを目的として開催した。 〔場所〕市教育センター 岩手大学釜石教室 〔対象〕高校生以上の市民 〔時期及び内容〕</p> <p>① 「現代の『家族』を考える」 講師：清水 海隆 氏（社会福祉学部教授）</p>	<p>□単独実施のみでなく、学校で の授業機会の活用や放課後子 ども教室活動の一環としても 実施。運営効率もあったこと から、継続し連携しながら実 施するとともに、自然学習・ 体験から得られる有用性につ いて、保護者等の理解の深ま りを図りながら子どもの参加 を促していく。</p> <p>□大学側と協議を行った結果、 令和2年度は当市を会場とし た「いわて生涯学習士育成講 座」を実施することとした。 趣味的な講座から一歩踏み込 んで、地域のリーダー育成を 目指した内容として、取り組 む。</p> <p>□例年中高年層が多くを占める ことから、特に若者世代への 周知や、卒業後の進路を考え る市内高校生が参加しやすい テーマを考慮する等の必要が ある。</p>
--	--	---

6. 15(土)/24名受講

- ②「温暖化は人災（環境問題）か天災（気候変化）か？」

講師：福岡 義隆 氏(名誉教授)

6. 22(土)/23名受講

- ③「いよいよワールドカップがやってくる～4年に1度じゃない、一生に一度の感動だ！～」

講師：堀越 正巳 氏(ラグビー部監督)

6. 29(土)/30名受講

□ 生涯学習まちづくり出前講座

生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図り、地域課題を考える機会とし、参加団体、講座メニューともに充実を図り、定期的な利用が行われるようになった。

〔学習メニュー〕

市によるもの69講座、関係機関によるもの20団体98講座
計167講座登録

＜実施回数及び受講者数＞

22年度	23年度	…	29年度	30年度	元年度
67回	16回		56回	54回	55回
2,236人	850人		1,607人	1,118人	1,349人

□令和2年度から、医療介護連携、消費生活相談等に関する講座を新たに追加するなど充実を図った。よりよい講座の実施を目指して、周知及び利用方法について、利用者目線で検討していく必要がある。

4 教育行政に関する事項

主な項目	令和元年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
教育行政	<p>□ 教育行政の執行に当たっては、5人の委員で構成される合議制の執行機関として、毎月の定例会議のほか必要に応じて会議を招集するとともに、学校訪問の実施や各課の事務の取り組み状況の把握を行った。</p> <p>また、新しい教育委員会制度に対応した総合教育会議を開催し適切な執行管理に努めた。</p> <p>(教育委員会議定例会) 12回開催 (教育委員会議臨時会) 3回開催 (総合教育会議) 2回開催 (委員会議以外の主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問 6.18(火)/白山小学校、6.20(木)/大平中学校、 ・ 学校公開 10.10(木)小佐野小学校、10.30(水)/鶴住居小学校・釜石東中学校 ・ 教育研究所研究発表会/1.9(木) ・ 入学式、卒業式、成人のつどい ほか <p>□ 市民への教育行政全般に関する情報提供を行うため、「教育広報」を11月と3月に発行し、市内全戸に配布した。</p>	<p>□ 総合教育会議の充実</p>
教育振興基金 寄附金	<p>□ 釜石市の教育振興と児童・生徒を応援するためにと、全国から寄附金が寄せられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元年度寄附金10件 (内訳：団体5件 個人4件 ふるさと寄附金分1件) 合計 26,483千円 	<p>□ 釜石市教育振興基金に積み立て、その後寄附者の申し出に沿った事業に活用する。</p>

5 資料

組織機構の見直しにより、教育委員会の事務の一部を市長部局へ移管しております。

以下の事業は点検評価の対象とはなりません、事務の継続性を確認するため掲出しております。

基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

【取組項目】

① 歴史遺産の活用と芸術文化の振興【生涯学習文化スポーツ課 現：文化振興課】

実施施策	令和元年度の主な取り組み内容と成果																				
郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援	<input type="checkbox"/> 岩手県青少年劇場開催事業 優れた伝統文化の鑑賞を通じて、児童の豊かな情操の涵養と健全育成に取り組んだ。 古典的な内容を中心に、子どもにも分かりやすい説明があり、終始笑いの絶えない公演となった。																				
	<input type="checkbox"/> 本公演 〔時期〕6.27（木） 〔場所〕釜石市民ホールTETTO ホールA 〔対象〕市内小学校5,6年生 447人 〔内容〕はなしの伝統芸能「みんなで大笑い！東西寄席」																				
	<input type="checkbox"/> 伝統文化こども教室事業 4団体で教室を開催。児童生徒が伝統文化に触れることを通し、その分野の技能だけでなく、礼儀作法を身につけることに繋がっている。教室の指導者養成や参加児童生徒、運営資金の確保が課題である。 〔時期〕通年 〔場所〕市内 〔対象〕市内の小学校から高等学校までの児童生徒 〔団体〕釜石市裏千家茶道子ども教室、釜石市表千家茶道子ども教室、釜石草月会、杵家会釜石支所																				
	<input type="checkbox"/> 釜石市民芸術文化祭開催事業 日々活動を行っている芸術文化団体の成果を発表するとともに、未来を担う子どもたちの芸術文化にもスポットを当て、展示や発表を行うことができた。 令和元年度は、岩手芸術祭巡回美術展及び移動公演と共催で実施したことから、入場者は昨年（1,767人）に比較し増加した。 今後の芸術祭の開催方法や継続手法についても、芸文協と協議を重ねていく必要がある。 〔時期〕11.8（金）～10（日） 〔場所〕釜石市民ホールTETTO 〔対象〕市民、釜石市芸術文化協会加入団体 〔内容〕絵画、書、切り絵、生け花等の展示、大正琴、早池峰神楽（大償神楽保存会）、モダンダンス（金田尚子舞踊研究所）等のステージ発表																				
	<p>＜市民芸術文化祭参加団体、入場者数＞</p> <table><tr><th>年度</th><th>22年度</th><th>23年度</th><th>…</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>令和元年度</th></tr><tr><td>参加団体数</td><td>32団体</td><td>24団体</td><td></td><td>39団体</td><td>34団体</td><td>24団体</td></tr><tr><td>入場者数</td><td>4,817人</td><td>1,357人</td><td></td><td>1,261人</td><td>1,767人</td><td>1,880人</td></tr></table>	年度	22年度	23年度	…	29年度	30年度	令和元年度	参加団体数	32団体	24団体		39団体	34団体	24団体	入場者数	4,817人	1,357人		1,261人	1,767人
年度	22年度	23年度	…	29年度	30年度	令和元年度															
参加団体数	32団体	24団体		39団体	34団体	24団体															
入場者数	4,817人	1,357人		1,261人	1,767人	1,880人															
	<input type="checkbox"/> 郷土資料館管理運営事業 釜石市郷土資料館の収蔵資料（被災資料保存事業により保存・修復処理した資料を含む）について、通年で整理・分類を行った。また、常設展示とは別にテーマを設けて企画展を行った。 令和元年度は、前年度に拡張工事を実施した展示スペース部分に、震災からの「復興のあ																				

ゆみ」に関する展示を整備した。（※展示パネルの作成、大型モニターによるミニシアターの設置、復興計画図等が閲覧できるタッチパネルの設置など。）

今後は、郷土の歴史・文化の学習拠点とし更なる内容充実を図り、関係各課との連携をより緊密にして魅力のある展示を工夫しながら、リピーターを増やすよう努めていく。

〔時期〕 通年（企画展は年5回）

〔内容〕 収蔵資料の保存・管理、展示公開、データベースの整理、資料貸出し

＜郷土資料館利用者数＞

年度	22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	令和元年度
団体数 (人数)	57団体 (3,855人)	13団体 (455人)		76団体 (1,314人)	33団体 (563人)	30団体 (507人)	51団体 (956人)
利用者数 合計	5,540人	786人		5,191人	2,249人	3,079人	5,109人

（※29年度は改修整備工事のため、H29.10.1からH30.3.31まで一時休館）

（※30年度は館内展示準備のため、H30.4.1からH30.5.31まで一時休館）

（※令和2年1月から入館の有料化を開始。 大人/200円 団体/100円 高校生以下及び障害者手帳をお持ちの方は無料）

＜所蔵資料件数＞

8,072件（令和2年3月現在）

② スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化【生涯学習スポーツ課 現：スポーツ推進課】

実施施策	令和元年度の主な取り組み内容と成果																																										
スポーツを通じた市民の健康づくりの推進	<p>□ スポーツ推進委員派遣事業</p> <p>スポーツ推進委員を地区行事やPTA 行事、親子レクリエーション等へ派遣することで、健康づくりとスポーツの普及を図った。</p> <p>＜講師派遣事業実施件数と参加者、推進委員数＞</p> <table><tr><th>22年度</th><th>23年度</th><th>…</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>R1年度</th></tr><tr><td>23件</td><td>9件</td><td></td><td>16件</td><td>25件</td><td>10件</td><td>17件</td></tr><tr><td>739人</td><td>496人</td><td></td><td>559人</td><td>540人</td><td>397人</td><td>411人</td></tr><tr><td>26人</td><td>25人</td><td></td><td>27人</td><td>27人</td><td>22人</td><td>32人</td></tr></table> <p>□ 健康づくりによる復興コミュニティ形成支援事業</p> <p>27年度までは「被災者健康づくり事業」として実施してきたものを、28年度は被災者支援総合交付金を活用して「仮設団地等における健康支援事業」として実施。指導員4名体制で仮設団地等を訪問し、市民の健康づくりのため健康体操教室などを行った。</p> <p>30.31年度は、仮設住宅から復興住宅及び自立再建への移行が最終フェーズを迎えていることを踏まえ、対象の重点を復興住宅入居者及び自立再建者として事業を実施した。</p> <p>＜健康支援（健康づくり）事業参加者数＞</p> <table><tr><th>22年度</th><th>23年度</th><th>…</th><th>28年度</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>R1年度</th></tr><tr><td>-人</td><td>235人</td><td></td><td>8,100人</td><td>10,389人</td><td>9,225人</td><td>8,484人</td></tr></table> <p>□ 第46回釜石健康マラソン大会</p> <p>市民参加型のイベントであり、健康増進の一助として釜石市球技場（周辺）を会場に実施した。</p> <p>＜健康マラソン大会参加者数＞</p>	22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	R1年度	23件	9件		16件	25件	10件	17件	739人	496人		559人	540人	397人	411人	26人	25人		27人	27人	22人	32人	22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	R1年度	-人	235人		8,100人	10,389人	9,225人	8,484人
22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	R1年度																																					
23件	9件		16件	25件	10件	17件																																					
739人	496人		559人	540人	397人	411人																																					
26人	25人		27人	27人	22人	32人																																					
22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	R1年度																																					
-人	235人		8,100人	10,389人	9,225人	8,484人																																					

22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	R1年度
753人	574人		463人	427人	339人	335人

□ スポーツ施設利用状況

＜スポーツ施設利用者数＞

22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	R1年度
158,535人	81,540人		148,747人	143,975人	132,714人	136,987人

□ スポーツ団体及びスポーツ少年団関係

＜スポーツ団体数(上段)及びスポーツ少年団数(下段)＞

22年度	23年度	…	28年度	29年度	30年度	R1年度
37団体	37団体		37団体	37団体	37団体	37団体
34団体	34団体		25団体	26団体	24団体	24団体

スポーツ施設の拠点化とスポーツイベントの誘致

□ スポーツ施設の整備

東日本大震災により被災した市民体育館が整備され、令和元年度12月にオープン。

□ 各種イベントの開催及び支援

○釜石ラグビィグドリーム2019

〔期日〕 11.2(土)

〔場所〕 釜石市球技場

〔内容〕 釜石SWー清水建設の無料招待試合

小学生ラグビークリニック

〔参加者〕 850人(観客650人、関係者200人)

○各種大会等への支援

・ 第54回岩手県弓道釜石大会 50千円

4.29(日)

・ 岩手県古希軟式野球大会 50千円

9.2(月)～6(金)

・ 第3回釜石オープンウォータースイミング2019根浜 650千円

8.4(土)

・ 第25回釜石はまゆりトライアスロン国際大会 1,100千円

7.28(日)

・ 第36回全国ビーチボール競技大会 50千円

9.14(土)～15(日)

・ 東海市釜石市スポーツ交流大会 1,386千円

8.3(土)～5(月)

・ 第12回鉄と魚とラグビーのまち釜石潮騒ウォーク 50千円

10.19(土)

・ 第10回かまいし仙人峠マラソン大会 4,300千円

11.2(土)～3(日)

・ 東北高等学校ボクシング新人大会 200千円

1.17(金)～19(日)

「令和元年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書」 有識者からの意見聴取会意見（要点）

有識者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、3つの基本目標、その目標に係る5つの取り組み項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて御意見をいただいた。

1 開催日時 令和2年8月20日（木）13時30分から14時45分まで

2 会 場 釜石市教育センター 2階 教育委員会室

3 委 員 柏崎 未来さん（一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校理事）
蟹江 美幸さん（いのちをつなぐ未来館（株式会社かまいしDMC））
久保 知久さん（釜石市文化財保護審議会副会長）
佐々木 幾子さん（釜石保育会会長）
佐々木 猛さん（釜石市小中学校校長会会長）
齊藤 健さん（釜石市PTA連合会会長）

4 意見の聴取方法

- (1) 点検・評価調書を事前に配布し、あらかじめ内容を確認していただき、当日の会議において意見を伺った。
- (2) 妥当性については、「概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）」、「やや妥当でない（やや違っている）」、「全く妥当でない（全く違っている）」のいずれに該当するかという観点からを中心に意見を伺った。

5 意見の概要

（1）強く生き抜く子どもを育てるまちづくり（基本目標6）

①地域との協働による特色ある教育活動の展開

②生活・防災拠点としての教育環境整備

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○釜石市でラグビーワールドカップが開催されたことで、子ども達自身がラグビーの町だということを肌で感じる事ができ、全生徒が鶴住居スタジアムに集って、大きな大会を支えることができたということは、子ども達にとって大きな自信になり、とてもいい機会だった。</p> <p>○かまいし絆会議をととして、子ども達が大きな大会に前面に出たことで、自信と存在感を感じてくれたのではないかと思います。小中学生もいろんな分野で自分達の意見や考え方を主張できるように、この絆会議を発展させてほしい。絆会議はいいチャンス、いいアイディアだと感じる。</p> <p>○ラグビーワールドカップが近づくにつれ街中がラグビー一色に変わっていく様を実際に見て、試合も生で観ることができるというのは羨ましい。子どもの頃にそれが経験できて、実際に観たというのはすごく大きな経験だと思う。</p> <p>○不登校を含めた子ども達の様子をみると非常に背景が複雑であり、医療、行政、専門家の力も益々必要になってくる。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用は、今後も非常に重要なポイントであり、配置について配慮いただきたい。</p> <p>○いじめや不登校等をよく耳にする。ケアだけでなく、その子たちが、心身ともに安全安心にすごせる場づくり等も必要ではないか。</p> <p>○総合的な学習の時間において、地域のゲストティーチャーの活用など地域人材を活用し、地域と教育活動の橋渡しの役割を務められている。教育委員会の働きかけにより、各小中学校が特色ある教育活動を行えている。</p> <p>○各学校の地域にあわせた教育がされていてすばらしい。いのちをつなぐ未来館の</p>

	<p>活用も視野に入れていただきたい。</p> <p>○防災にからめた「命の教育」の取り組みが熱心で、それを「当たり前」と捉えていると感じる。これからも「命を守る教育」を推し進めていって頂きたい。</p> <p>○学校にエアコンが整備（普通教室及び特別支援教室）され、学習しやすい環境、健康的な学校作りという意味で非常に良かった。 今後も可能な範囲で必要な部分についての対応をお願いしたい。</p> <p>○学校給食については、これからも地場産物を大いに使ってほしい。</p>
--	--

（２）歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり（基本目標７）

①歴史遺産の活用と芸術文化の振興

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○中学校までに１回は橋野高炉を見学して、鉄に関する知識を知ってほしいという願いがあり、文化財に関しても釜石市にいますのであれば釜石市の文化財はこういうのがあるのだよということを知ってほしいと思う。</p> <p>○本物に触れるということはすごく大事だと思うので、鉄づくりの体験事業や近代製鉄の歴史と文化の事業は、今後とも継続をお願いしたい。</p> <p>○子ども達が釜石を出る前に、「釜石というと何があるの」と言われた時に「こんなものがあるよ」と知識として小さい時にあったことがあるからわかっているというものをいくつも体験する環境を作っておくのがとても大事だと思う。</p> <p>○各地域それぞれに虎舞など郷土芸能が根付いている。また、それを継承していくには、地域の理解も必要だと感じる。初めてみる者にも感動が与える事のできる伝統なので、是非、市も協力を続け継承活動に尽力して頂きたい。</p> <p>○郷土芸能祭を見ていると一番嬉しくなるのは、子ども達が出ていること。地域で子どもを巻き込んで一つの和ができています。郷土芸能を介してそれが見受けられ、地域にとっても良いことであり、人と人との繋がりができています。</p>

（３）絆と支えあいを大切にするまちづくり（基本目標２）

①安心できる子育て環境の整備

②学びが実践につながる生涯学習社会の形成

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○高齢化が進む中で、年配の方が集まる場である公民館の環境が整備されている事で、使用頻度も更に増えるかと思う。各地域の住民の方々の声を聞いて、適切な対応を行って頂ければと思う。</p> <p>○“市”を元気にしていく為には、学校はもちろんの事、それ以外での「学習の場」はとても大切である。「読書活動推進事業」や「国際理解支援」「子どもエコクラブ」などの取り組みは是非今後も続けていって頂きたい。</p> <p>○放課後子ども教室において、安全管理員の減少により教室開催数が減ったことは、とても残念であるし、問題であると感じた。「各教室単位の種々の問題」と記載があったが何とか解決して頂き、子どもがのびのびと遊び、学べる場の確保にご尽力頂きたい。</p> <p>○教育振興運動は人が固定化して広がっていったいないが、子ども達のスマホ、ネットにつないだ機器に関わっての生活の乱れ等、そこから発生する問題は今も問題であり、改善しないといけないと非常に強く感じる。教育振興運動でやっているが、もっと多くの人達に問題意識を持って具体的に行動してもらう意味で教師もどのように広めていくかが大きなテーマだと思っている。</p> <p>○地域と学校がつながっていかねばならない。そのためには、学校と地域をつなぐコーディネーターの育成が必要である。</p>

６ その他（全般を通しての意見） 特になし